

「バイオインダストリー協会の ABS支援活動」

平成26年11月19日

COPMOP報告会

野崎恵子

No Access, No Benefit

ABS支援ツール

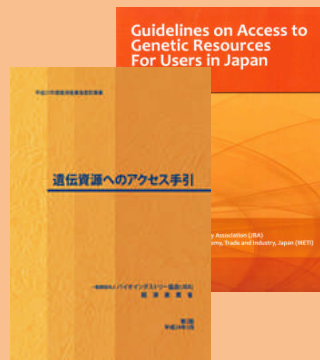
1. 遺伝資源へのアクセス手引(第2版)
2. 情報提供
 - ①専用ウェブサイト(mabs.jp)
 - ②各種セミナーの開催
3. 相談窓口
4. 各国ルートの開拓、2国間セミナーの開催

1. 遺伝資源へのアクセス手引

遺伝資源へのアクセス手引(第2版)

H17～、H24に名古屋議定書に対応

METI承認のガイドライン、基本原則、用語、Q&A、英語版あり(相手用)



無料配布

内容:

1. 一般的事項(背景及び目的、適用範囲、基本的考え方、用語の説明)
2. アクセスと利益配分の手順(政府窓口、事前の情報に基づく同意、相互に合意する条件、利益配分、遵守、紛争解決)
3. その他事項(組織内の管理システム)
4. JBA及び経済産業省の役割

2. 情報提供

①専用webサイト(MABS.JP)

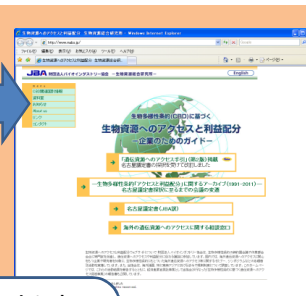
- ・各国情報(アジアを中心に)
- ・資料室

訳: CBD、ボン・GL、名古屋議定書
過去セミナー資料、NCIのMOU
委託事業報告書(H15～)

- ・リンク
- ・相談入力フォーム

②各種セミナー

- ・オープンセミナー、説明会(EU規則、H25,2月)、企業内、大学、学会(依頼ベース)



国際会議参加報告、セミナー報告及び資料、各国現状調査報告、国際会議公式報告書和訳、他の関連国際交渉状況(WIPO, UNCLOS, TK)

3. 相談窓口

- ・無料・守秘
- ・メール、電話、面談
- ・過去520件
- ・主な相談内容(より具体的にお話頂くと回答しやすいです)
自分の持っているものは遺伝資源(名古屋議定書の対象)だろうか？
手続きは必要？ 手続きは？ 契約の内容
基礎研究なのだが。資源の海外への移転
相手が不要と言っているのだが、打開策は？

4. 各国ルートの開拓

- 開拓
 - ・1991～METI委託事業にてフィージビリティスタディ開始
アジア諸国とのお付き合い開始
 - ・1993～NEDO事業にて連携開始
 - ・2000 NITE・BRC設立(CBDに則った、アジア各国と
微生物の調査、移転、利用、MOU締結)
- 二国間セミナー
中国、モンゴル、ベトナム、タイ、インドネシア、
インド、オーストラリア:政府当局者を招聘

アクセス方法の調べ方

- CBD事務局のページを調べる

法令→<http://www.cbd.int/abs/measures/>

当局→<https://www.cbd.int/countries/>

- ABSクリアリングハウスに一元化(いずれ)

→<https://absch.cbd.int/>

- 当局に問い合わせる

- JBAや国立遺伝研ABS学術対策チーム、農水のITPGR事務局に問い合わせる。

本年度の活動

平成26年度環境対応技術開発等 (生物多様性総合対策事業)

- 遺伝資源に円滑にアクセスできる環境の整備
 - ・遺伝資源利用の実態調査
 - ・海外調査(11/24-25:ICC ABS WorkOUT)
 - ・ABSに関する相談窓口の設置
 - ・ABSに関する情報発信(webサイトの運営、更新、セミナー開催(11月:東京、九大、12月:乳酸菌学会))
- 国際交渉の支援
 - ・専門家を招聘した委員会の開催
 - ・国際ワークショップの開催(H27.2月:EU規則)
 - ・国際交渉等への出席(COPMOP1:10月韓国)